

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

事務事業名		県レクリエーション協会参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020403000097
						単独/補助	単独	所属課	090501
政策	総合計画の施策名	0204 生涯スポーツ活動の振興				主要事業			スポーツ振興課
策	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト			
体	施策名	04 生涯スポーツ活動の振興				未来PJ事業		グループ	スポーツ振興G
系	手段名	03 ③スポーツ団体の支援とリーダーの育成				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	07	01	02	00	単年度繰返し (平成18年度~)		
法令根拠						保健体育総務事業			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)		② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>【事務事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県レクリエーション協会に加盟し、レクリエーション活動の普及、指導、イベント等の開催、指導者の養成及び指導者の確保を図っていく。 目的 県民の健康と文化的な生活の向上を図り、明るく楽しい地域社会を築いていく。 <p>【事業費の内訳】</p> <p>県レクリエーション協会への負担金の支出 5千円</p>		<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>スポーツ推進委員とレクリエーション活動の普及について協議をする。</p> <p>レクリエーション協会に講師依頼をする。(予算はない。)</p> <p>レクリエーション協会に講師依頼をする。(予算はない。)</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
スポーツ推進委員とレクリエーション活動の普及について協議をする。 レクリエーション協会に講師依頼をする。(予算はない。)	ニュースポーツ教室講習会	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
市民	桜川市人口 (常住人口)	人	41,278.00	40,483.00	40,027.00	39,571.00	39,115.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
ニュースポーツの指導を受け、市民にニュースポーツの普及を図ることでスポーツ実施人数を増やす	週1回以上スポーツを行っている市民の割合	人	40.20	40.30	41.00	41.00	41.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定総投入量
量	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5	5	5	0
	事業費計 (A)	5	5	5	0
	正規職員従事人数	1.00人	1.00人	1.00人	

30年度事業費 実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)	01年度事業費 予算 (千円)
19 負担金補助及び交付金	5	5
合計	5	5

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容

02年度の事業内容

03年度の事業内容

<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			
--	--	--	--

事務事業名	県レクリエーション協会参画事業	事務事業No.	20403000097	所属課	スポーツ振興課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

余暇時間を利用したレクリエーション活動の普及と指導者の育成を図る目的で、協会が発足されたことにより加盟。レクリエーションクローカー、グランドゴルフ等の活動は見受けられるが、経費等の問題もあり、その他のニュースポーツがなかなか定着しない状況にある。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

レクリエーション活動ができる機会を増やしてほしい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	レクリエーション協会から講師を派遣してもらい、ニュースポーツを普及してもらうことは、生涯スポーツ社会を盛んにする方法のひとつとして、政策と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	充実したレクリエーション活動を行っていくためには、講習会等指導者の育成も大切なので、県レクリエーション協会への負担金は、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	登録会員のみならず、指導者の拡充を図るため、指導者の発掘・育成をしていく必要があるが、スポーツ推進委員事業で行っていく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	指導者の育成が図られなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	協会への負担金のみであるため、削減は難しい。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民のレクリエーション活動を盛んにするため指導者の育成は大切であり、そのための負担金は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	県レクリエーション協会から講師派遣を依頼し、市民が望むスポーツ教室をスポーツ推進委員事業及びスマイルクラブにおいて開催したいと考えている。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○	×																				
	維持			×																				
	低下			×																				

(6) 事務事業優先度評価結果	
成果優先度評価結果	◎
コスト削減優先度評価結果	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>